

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部（第5回）

議事録

日時：平成28年10月7日（金） 9：00－9：15

場所：官邸4階大会議室

出席者：安倍内閣総理大臣、大塚財務副大臣（麻生財務大臣代理出席）、菅内閣官房長官、高市総務大臣・内閣府特命担当大臣、金田法務大臣、岸田外務大臣、松野文部科学大臣、塩崎厚生労働大臣、山本農林水産大臣、世耕経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、石井国土交通大臣、山本環境大臣・内閣府特命担当大臣、稲田防衛大臣、今村復興大臣、松本国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣、鶴保内閣府特命担当大臣、石原内閣府特命担当大臣、加藤内閣府特命担当大臣、山本内閣府特命担当大臣、丸川東京オリンピック・パラリンピック大臣、萩生田内閣官房副長官、野上内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官

【丸川大臣】

それでは始めさせていただきます。

ただ今から、「東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部」の第5回会合を開催いたします。本日は御多忙の中ご参集いただき、誠にありがとうございます。進行を務めます丸川でございます。よろしくお願いたします。

それでは、早速、議事に入らせていただきます。議題1について、資料1をご覧ください。

《2020年東京大会に向けた政府の取組について》

先日リオ大会が閉幕しまして、いよいよ2020東京大会に向けて、東京都や組織委員会と密接に連携しつつ、大会準備を加速していく必要があります。

このため、昨年11月に閣議決定をされました「オリパラ基本方針」に基づき、東京大会に向けて各府省庁が取り組んでいる関連施策について、現時点での進捗状況を整理して、資料1「2020年東京大会に向けた政府の取組」としてまとめました。

この資料は、基本方針に沿って2つのパートに分かれておりまして、前半は「1. 大会の円滑な準備及び運営」として、セキュリティ、輸送、外国人受入れ、暑さ対策、環境問題、競技力強化、アンチ・ドーピング対策、新国立競技場の整備、オリパラムーブメントの普及等について、関連施策の進捗状況を整理しております。

後半の11ページからの「2. 大会を通じた新しい日本の創造」のパートでは、被災地の復興、地域活性化、技術力の発信、外国人旅行者の訪日促進、日本文化の魅力の発信、スポーツ立国の実現、健康増進・受動喫煙防止、ユニバーサルデザイン・心のバリアフリー等について、整理しております。

昨年11月の基本方針決定後の主な進捗事例をご紹介しますと、「1. 大会の円滑な準備及

び運営」では、サイバーセキュリティについて、関係省庁の御協力のもと、電力・通信等の重要インフラ事業者に、リスク評価に着手いただきました。

次に「2. 大会を通じた新しい日本の創造」では、今年8月の「ユニバーサルデザイン2020中間とりまとめ」に基づいて、大会を契機としたユニバーサルデザイン・心のバリアフリーの実現に向けた各種の取組が始まりました。さらに、beyond2020プログラムの推進や、今年1月から登録が始まったホストタウンの更なる推進等を通じて、大会の効果を全国津々浦々まで波及させていきたいと考えております。

大会に向けた関連施策について、これまでの取組に係る閣僚の皆様のご尽力に感謝を申し上げますとともに、今後も、一層の取組の推進をお願い申し上げます。

《「ホストタウン関係府省庁連絡会議の開催について」の一部改正について》

次に議題2に移ります。議題2は、ホストタウン関係府省庁連絡会議の構成員の形式的な変更に伴うものでございますので、本会議を持って本部決定いただくことでよろしく願いいたします。

《ラグビーワールドカップ2019の準備状況について》

次に資料3をご覧ください。「ラグビーワールドカップ2019の準備状況」について、松野文部科学大臣より、ご説明をお願いいたします。

【松野大臣】

資料3をご覧ください。「ラグビーワールドカップ2019の準備状況」については、本年2月24日、関係府省庁の申し合わせにより「ラグビーワールドカップ2019の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」を決定し、開催自治体、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会等との連携を強めているところであります。

ラグビーワールドカップ2019を国として支援し、成功に導くため、閣僚の皆様におかれては、2020年の東京大会との一体的な準備に配意しつつ、積極的な取組をお願いいたします。以上です。

【丸川大臣】

ありがとうございました。それでは、これまでの説明に対して、ご発言をお願いいたします。この後に閣議がございますので、簡潔にお願いします。まず、松野文部科学大臣、よろしく申し上げます。

① 松野文部科学大臣

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会についてでございますが、リオ大会においては、日本選手団の活躍により、日本中に感動を届けることができました。2020年東京大会に向けて、スポーツ庁創設1周年に併せて公表した「新たな支援方針」に基づき、国際競技力の向上を図ってまいります。

また、引き続きアンチ・ドーピング体制の強化、文化プログラムの推進等に取り組むとともに、パラリンピックを契機とした共生社会の実現に向けて「心のバリアフリー」教育にも取り組んで参

ります。以上でございます。

② 塩崎厚生労働大臣

東京オリンピック・パラリンピックに向け、厚生労働省は、特に受動喫煙防止対策の強化に取り組んでいきます。

これまで、立法措置も含めて検討を進めてまいりましたが、近日、厚生労働省の考えをお示します。従来の努力義務よりも実効性の高い制度とし、スモークフリー社会に向けた歴史的一步を踏み出せるよう、関係省庁には引き続きご協力をお願いいたします。

③ 山本農林水産大臣

農林水産省では、国内外の人々に日本の魅力を知って頂くため、選手村での日本食の提供をはじめとした国産食材の活用、大会時における我が国食文化の発信、競技施設における国産木材や畳の利用促進、表彰式における和装・日本産の花や緑によるおもてなしなどの取組を通じて、大会の成功に貢献してまいります。

④ 世耕経済産業大臣

経済産業省として、東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会を成功させるため、「①電力・エネルギーの安定供給」、「②世界に福島の復興を示すための取組」、「③人口減少などの社会問題を、自動走行やロボットなどの先端技術を最大限活用して克服するモデルの構築」に全力を挙げてまいります。

そのため、産業構造審議会2020未来開拓部会において、新産業の創出やイノベーションの実現、働き方の多様化、主体性・多様性を重視する教育にも焦点を当てて、審議しております。

このように、政府、地方自治体、産業界等が一体となった様々な取組を通じて、2020年以降に向け、各種課題を乗り越える国家モデルを構築し、世界に示していきたいと思っております。

⑤ 石井国土交通大臣

国土交通省といたしましては、円滑な輸送対策や外国人観光客の受入環境の整備などにしっかりと取り組んでまいります。

その際、「ユニバーサルデザイン2020中間とりまとめ」を踏まえ、東京だけではない全国各地における高い水準のバリアフリー化、「明日の日本を支える観光ビジョン」を踏まえ、次期開催国として知名度の高まる機会を活用した訪日プロモーションにも取り組んでまいります。以上であります。

⑥ 山本環境大臣

環境省としては、2020年東京大会を契機に環境配慮が進むよう、引き続き、熱中症予防のための暑さ対策の推進、低炭素化の推進、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進等の取組を進めてまいります。

⑦ 稲田防衛大臣

先日開催されたリオデジャネイロオリンピック競技大会では、自衛官アスリートも2個のメダルを獲得するなど、輝かしい成果をあげております。

防衛省・自衛隊としては、関係機関と密接に連携して、セキュリティ対策、ブルーインパルスや音楽隊等による大会運営への協力、自衛官アスリートの育成・競技力向上に積極的に取り組んでまいります。

⑧ 今村復興大臣

東京大会が東日本大震災からの復興の後押しとなるよう、聖火リレー、事前キャンプ、一部種目の開催等の取組を推進してまいります。

また、岩手県釜石市でのラグビーワールドカップの成功に向けた支援を行ってまいります。

⑨ 松本国家公安委員会委員長

厳しい国際テロ情勢の下、リオデジャネイロ大会の視察結果も踏まえつつ、万全な警備に向け、関係機関等と連携し、情報収集・分析の強化、水際対策の強化、警戒警備の徹底等の諸対策を推進するとともに、大会関係者の安全かつ円滑な移動の確保等に向けた対策を検討してまいります。以上です。

⑩ 鶴保内閣府特命担当大臣

2020年の東京大会は、我が国の科学技術イノベーションを世界に発信する貴重なチャンスであります。関係省庁等と連携し、自動走行技術を応用した、車いすや高齢者の方々にも乗りやすい次世代都市交通システムの実現や、ゲリラ豪雨の詳細な予測など、様々な科学技術イノベーションを発信できるよう取り組みます。

また、沖縄担当大臣としても、沖縄の豊かな自然や特色ある文化を体験していただくため、市町村における事前合宿の誘致の支援をするとともに、東京大会の種目として新たに空手が追加されたことを契機に、沖縄が空手の発祥の地であることを世界に広めて参りたいと思います。

【丸川大臣】

ありがとうございました。時間の関係上、発言はここまでとさせていただきます。
それでは、プレスが入室いたします。

[プレス入室]

【丸川大臣】

安倍内閣総理大臣からご挨拶を頂きたいと存じます。よろしく願いいたします。

【安倍内閣総理大臣】

先月、リオデジャネイロ大会が、日本選手団の大活躍により、幕を閉じました。檜舞台上、大きな期待を背負いながら、懸命に立ち向かう選手の姿に、スポーツには、人や社会を元気にする力があることを、改めて感じました。

次は東京大会です。私もしっかりとブラジルからバトンを引き継いできました。

政府は、昨年十一月の「基本方針」に基づき必要な準備を進めてきましたが、東京大会を世界一とすべく、準備を加速させる必要があります。

悲惨なテロ事件が世界各地で発生する中、選手や観客、国民の安全安心のため、政府を挙げて、テロ対策・サイバーセキュリティ対策に万全を尽くします。

パラリンピックについては史上最高の盛り上げを実現し、ユニバーサルデザインや心のバリアフリーによる共生社会への弾みとします。

さらに、大会を「復興五輪」や地域活性化の弾みとするとともに、多様な日本文化の魅力を国内外に発信する等、大会の効果を全国津々浦々まで波及させます。

ラグビーワールドカップ2019についても、しっかりと準備を進めていく必要があります。

国民に祝福される大会とするためには、オープンなプロセスによる意思決定を行うとともに、コストをできるだけ抑制するなどにより、限られた予算と時間を、効率的かつ効果的に使うことが不可欠であります。

各本部長におかれては、基本方針を踏まえ、開催都市である東京都や関係機関との連携をより一層密にして、準備を加速させていただきたいと思っております。大会の成功に向けて、更なる御尽力をお願いいたします。

【丸川大臣】

総理、ありがとうございました。それでは、報道関係者の皆様はここで退場をお願いいたします。

[プレス退室]

【丸川大臣】

ありがとうございました。

本日はオリンピック・パラリンピックのアスリート達の合同のパレードが開催される予定でございます。益々東京大会に向けての引続きの御協力をよろしくお願い申し上げます。

本日の会合はこれで閉会とさせていただきます。ありがとうございました。